

# 平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第 3 報）

平成 17 年 5 月 1 1 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

## 「付着稚貝数が増加。」

### 1 ラーバの出現状況

5月11日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200 μm 未満が 25 個/トン、200 μm 以上が 35 個/トンと、前回調査時（合計 30 個/トン）より増加しています。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 8.8 と、前回調査時より 0.3 上昇し、平成 9 ~ 16 年の平均値とほぼ同じ値となっています。

### 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月6日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されました。しかし、各調査点の付着数は 0 ~ 141 個/袋と、調査点間のばらつきが大きい状況です。

唐丹湾の 141 個/袋をはじめ、宮古、釜石および大船渡地区北部で付着数が増加しています。一方、大船渡地区南部では、付着数は依然として少ない状況です。



図 調査点と付着稚貝調査結果

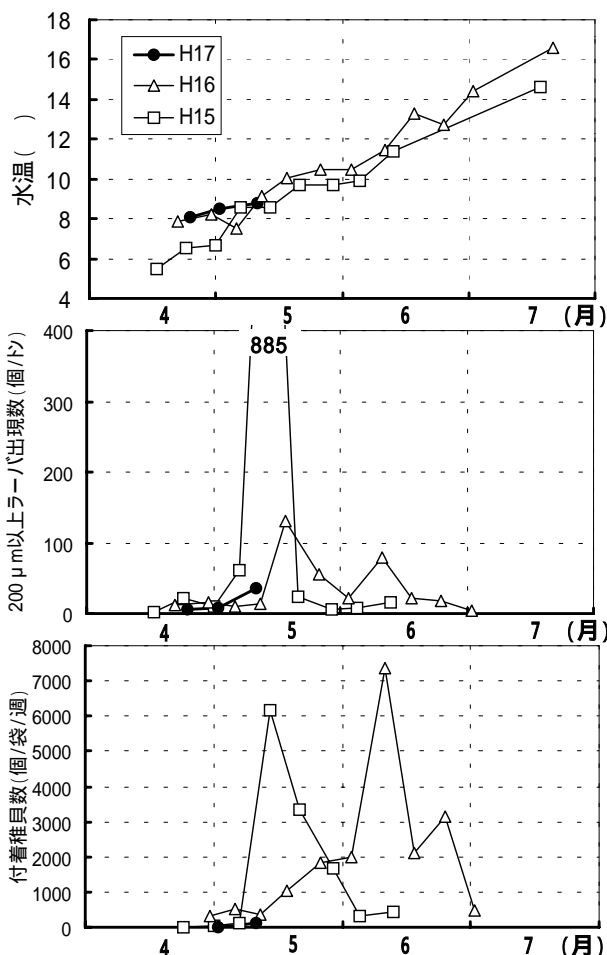


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 4 割が付着直後の個体でした。

県中南部では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

今後の調査結果に注意してください。

次報は、5月19日頃発行する予定です。